

# 市民と議会の意見交換会報告書

令和4年11月7日

白石市議会議長 小川 正人 殿

報告者 厚生文教常任委員会（1班）

（班 長）沼 倉 啓 介

白石市議会意見交換会開催要領の規定に基づき、次のとおり報告書を提出します。

日 時	令和4年10月23日（日） 10時00分 ～ 15時30分		
場 所	白石市中央公民館 ホール		
出席議員	（班長）沼倉 啓介	（書記）伊藤 勝美	平間 知一
参加人数	11人（男 6人：女 5人） ※ 午前4人、午後7人		
意見交換	【意見交換の内容】 ワークショップ テーマ：健康・福祉について  ※ 詳細な内容は、別紙「意見交換での意見、課題等」のとおり		

意見交換での意見、課題等

厚生文教常任委員会（1班）

【テーマ】健康・福祉について

ワークショップの冒頭において、班員の自己紹介をして、参加者に配布した資料「白石市在宅高齢者福祉制度のご案内」、「あなたと歩む介護保険」、「よくわかる国保ガイド」について説明した後、出席者からの意見の聴取を行った。

**【参加者からの意見として】**

**午前の部・AM10時から**

- ・公衆電話の取り外しは、市でも確認しているのか。
- ・広く見れば福祉（生活）として、内堀川の川干し時における浚渫や整備を何年もしていない、水をちゃんと止めてからやってほしい。
- ・高齢者世帯における救急医療が必要時の対応について。
- ・白石市は、デマンドタクシーを導入する考えはないのか。市中心部以外の地域は切実な問題になっている。対策はあるのですか。
- ・病院に行きたいが、乗用車がない。そこで、タクシーを手配するとなるとお金がかかる。本人は途方にくれる。このような時に何か方法は考えられないのか。
- ・一人暮らしなので、病院にいきたい時、近所に相談したいが、日中は人がいない、その時にはどうしたらよいのでしょうか。
- ・弱者救済の方法をもっときめ細かくやってほしい。
- ・夜間・休日等に急病になった場合、必ず見てもらえる体制を取ってほしい。

**午後の部・PM2時から**

- ・自治会のありかたに問題が山積していることについて（認可地縁団体）
- ・市の広報配布等の委託契約に関して、自治会連合会に丸投げしている
- ・自治会の会員は関係していないと考える。
- ・自治会連合会に関して、自治会との契約がない。
- ・委託金の透明化・自治会会長への指導不足である。
- ・自治会による募金・寄付金が自治会費に上乗せしている。
- ・広報等の配布について、自治会未加入では配布されないのか。
- ・一般廃棄物（ゴミ集積所）の利用について、自治会未加入世帯は出せないのか。
- ・中核病院へのバスについて、通院目的の専用バス配置について検討をお願いしたい。
- ・一人暮らしの高齢者の通院手段（免許がない・送迎してくれる人がいない）の負担を軽減してほしい。

- ・新しくなる刈田病院について
- ・10月17日開催の組合臨時議会で、指定管理者に「仁誠会」に決定した際の賛成した理由は何か、反対した理由は何か、お聞きしたい。
- ・病院も決まり、民営化の方向に進んでいますが、公営の可能性はゼロなのですか。
- ・「仁誠会」は、介護・福祉に重点を置いている病院のようですが、刈田病院は、医療中心の病院になるのですか。
- ・刈田病院の多くの職員は、新病院で働くことに不安を感じている。待遇に関して、現状のまま無条件で移行できるようにすべきだ。
- ・刈田病院に勤務する若い看護師確保の為に院内保育所の存続を市営でお願いしたい。
- ・今まで何かあると、東北大とか中核とか、仙台中心の病院に紹介だったように思うのですが、今後において、連携はとれるのですか。
- ・総合病院として、以前失った診療科の復活を望みます。
- ・失った外科について救急には必要ではないでしょうか。
- ・日本人の40代に多い乳がんの検診・手術対応ができなくなったが、刈田病院での復活を望みます。
- ・高齢化社会に伴って、心不全の増加、中高年の心臓疾患の心配があり、循環器科の復活を希望したい。
- ・休日当番医について、今後どうなるのか。
- ・周産期医療の実現について、実現の目途は、いつ頃に設定しているのか。
- ・検診事業の継続はどのようになるのか伺う。
- ・刈田病院に求める白石市医師会の要望は何か。

### **【課題等として】**

午前部では、テーマ以外も含め多数の意見が寄せられた。「公衆電話の取り外しは市でも確認しているのか」「高齢者世帯における救急医療が必要時の対応について」「病院に行きたいが方法がない」「一人暮らしなので、病院に行きたい時、近所に相談したいが、日中は人がいない」など、弱者救済の方法としての交通手段のあり方について、夜間休日の急病等に関する医療体制の確保についての意見が交わされた。

午後部では、「自治会に関する問題」「中核病院へのバスについて」「新しくなる刈田病院について」等、その他テーマ以外も含め、多数の意見が寄せられ議論が交わされた。

課題等については、今回寄せられた意見は、広く考えればテーマに沿ったものと言えるが、現実的に生活をしている市民にとっては、深刻で切実な問題となっていることであり、困り事相談に類したものが多く見られた。また、午後の内容においては、刈田病院に係る意見等が大半を占め、議論と回答に苦慮するものであった。

今後もこのようなケースが多く見られる事が予想されることから、意見交換会のあり方について十分に検討する必要があるのではないかと感じられた。